

令和6年度みどり幼稚園 自己評価表 (%評価)

評価分類	評定	内容
保育の計画性	100	園の教育理念・教育方針を理解している。
	100	幼稚園教育要領を理解している。
	100	教育課程をもとに、保育の計画を立てている。
	100	指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などを考慮して作成している。
	100	指導計画に基づいて、幼児が主的にかかわりたくなるような環境構成をしている。
	100	自分の保育と計画の評価・反省は、行うようにしている。
保育の在り方、 幼児への対応	100	園内に危険な個所がないかどうか、危険な遊び方はないかなどを常に観察している。
	100	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる。
	100	幼児の年齢や発達、個性、性格、特徴に応じたかかわり方をしている。
	100	幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している。
教師としての 良識・適正 の資質や能力	100	専門知識や技能を身に付け、保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている。
	100	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
	100	保育の楽しみ・喜ぶことができる。
	100	幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている。
保護者への対応	100	個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話・連絡帳などを使って伝え合っている。
	100	保護者からの要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている。
	100	守秘義務の遵守
	100	正しい日本語、ていねいな言葉と敬語を用いて語りかけ、相手の話も落ち着いてしっかいと聞いている。
	100	要望によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対応している。

地域 の自然 や社会 との かかわり	100	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている。
	37.5	小学校との連携をとっている。(感染拡大防止のため今年度は連携をひかえた)
	50	地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている。
研修 と研究	100	研修・研究への意欲がある。
	25	教師としての専門性に関する研修・研究を行っている。
	100	遊具・教材に関する研修・研究を行っている。
	100	園内環境に関する研修・研究を行っている。
	100	今日的課題に関する研修・研究を行っている。
	100	自らを高めるための学習を心がけている。

—自己評価を終えて—

- ◆ 自己評価を終えて教師全体の資質はもとより、地域の自然や社会との関わりを高める努力に努めたい。
- ◆ 「地域の自然や社会とのかかわり」の項目については、コロナ感染症が5類に移行したが、やはり園内では園児や教職員の感染が続き、積極的に地域との関わりをもった活動が出来なかった。
- ◆ 「研修と研究」についても、リモート研修から対面へと移行してきているので、職員全体が積極的に取り組み研鑽を高めていこうと思った。